



名村 嘉洋 議員

YOSHIHIRO NAMURA



**問** 中学生に対して実用英語技能検定料を補助し、習熟レベルに応じた英会話能力の育成を図るとあるが、現在の進捗状況は。

**答** 検定料の補助については、令和3年度より中学2年生、3年生を対象に実施しており、今年度約200名が補助を受けている。ALTを8名雇用し、市内全ての小中学校に派遣をしており、児童生徒との英語による会話はもとより、母国の言語や文化についての学習等、国際理解教育の一端も担いながら成果をあげている。

**問** 幼児スポーツ推進事業やトップアスリート夢事業、障害者スポーツ促進事業等を通して、どのようなまちづくりを目指すのか。

**答** スポーツを普及・振興するため、幼少期には、リズムジャンプ、体操教室の開催、スポー

少年団の活動支援などを行い、成人期には、各種スポーツ教室の開催や体育協会の活動により気軽にスポーツに携わる機会を提供している。また、障害者スポーツでは、障害の有無に関わらず気軽に参加できる「モルック大会」を開催するなど、スポーツに関係するあらゆる方々と連携、協働しながら、子どもから高齢者まで生涯を通じてスポーツに親しみ、誰もが健康で生き生きとした地域活力あふれるまちづくりを目指す。

**問** スマート自治体の実現に取り組みとあるが、どのような取組を考えているのか。

**答** 「市民の利便性を図るデジタル化事業」、「庁内の事務の効率化を図るデジタル化事業」合わせて、16事業、9,974万5千円を予算化しており、今後の国の動向等を踏まえながら、行政サービスの更なる向上と業務の効率化を図る。

**その他の質問事項**

- 女性が活躍できる地域社会の形成について
- 就労支援等について



野本 利明 議員

TOSHIAKI NOMOTO



**問** 小・中学校の適正規模・適正配置における各地域の現状とこれからの取組を伺う。

**答** 「たつの市適正規模・適正配置推進計画案」により、令和2年度から対象校において、適正規模・適正配置協議会を設置し、協議を重ねた結果、東栗栖小学校は、令和5年度末に新宮小学校と統合、また、香島小学校については、新宮中学校区内に建設を予定している小中一貫校の校舎設立時に統合すると結論に至り、来年度から統合に関する協議会を設置する。西栗栖小学校については、当面の間、現状のまま存続し、必要な時機に検討する。河内小学校については、当面の間、現状のまま存続し、令和5年度を目途に統合について検討を再開する。

**問** 小中一貫校の創設について、新宮中学校区を選定した経緯と理由を伺う。

**答** 東栗栖、香島小学校において、統合協議を進める中で、統合先の新宮小学校校舎の老朽化が課題となった。また、中学校の老朽化も進んでいることから、小学校と中学校の同時建て替えを行う小中一貫校を建設するという方針に至った。また、校舎建設のため、用地の確保を検討してきたが、小中の校舎、体育館、運動場に必要な面積が、現新宮小学校敷地内で確保できる見込みが立つことから、新宮中学校区で小中一貫校の創設を進める方針とした。



**その他の質問事項**

- 子ども・子育て世代における地域別転入超過の実態について
- 農林業施策について
- 有害鳥獣対策について
- 龍野動物園について